

わかってまいりましたので、これから1つずつ勉強してゆくつもりです。

住電ビジトロニクス  
ソフトウェア技術部 柴田 潤

昭和22年生、44年住友電気工業に入社、現在、住電ビジトロニクスに出勤中である。入社後12年間は、広域交通管制システムのソフトウェア開発に従事し、それ以降マイコン応用システムのソフトウェア開発を担当している。

学生時代に三根教授・長谷川教授にORの講義を受けたものの、身につかないまま社会の荒波へ。しかし、今思い返してみると、定量的・論理的・時間的・空間的な考え方を叩き込まれていたことに気づく。ORワーカー

ではないものの、高度の論理性を要求されるソフトウェアエンジニアとして飯を食っているため、OR的な考え方を無意識のうちにしていることが多い。ORは戦争に勝つことを目標にスタートした学問と言われるが、技術屋が直面する種々の局面で正しい選択の可能性を高めるツールとして、より勉強し、より親しんでゆきたいと思うこの頃である。

趣味の面でもORのおかげか将棋は4段の免状をいただいている。現在はあまりやらないので棋力も低下の一端であるが、局面全体をにらみ大局的に損得を判断して次の一手の選択をするという戦略的な態度は今でも身につけている。10年後には人生にORがどう生かされたかを成果報告できるように、仕事・趣味両面で努力を続けたい。

### 会合記録

	国際委員会	10月6日(木)(5)		10月21日(金)(8)
	会長候補者選考委員会		モニター会議	10月27日(木)(9)
( ) 内は出席者数		10月11日(火)(10)	支部長会議	10月25日(火)(14)
編集委員会(OR誌)	モニター委員会	10月14日(金)(2)	研究普及企画小委員会	
10月5日(水)(9)	秋季大会実行委員会			10月31日(月)(4)

**編集後記**▶今年も残りわずかとなってしまいました。新委員会が発足して半年、やっとここまでこぎつけることができました。原稿執筆者、特集のコーディネータの方々に心よりお礼申し上げます。またモニター、その他読者の方々からは様ざまな建設的なご意見を頂戴しましてありがとうございました。編集委員会ではその都度ご意見を検討し、取り入れるべきものは取り入れ、直ちに変更や改善ができない点は今後の解決課題として検討させていただいております。▶編集作業はルーチンワークとは言いながら、連載物はほんの一部ですし、記事内容も執筆者も毎月違うのですからなかなかルーチン化できません。常に新しいことを行なっているというのが実感です。またこの新しさがないと編集する私共の活力も生ま

れてこないような気がします。もちろん人目につきやすい目新しさだけを追求しているわけではありません。従来からの流れの中に潜む新たなトレンドも見逃がさない努力をしたいものです。▶今月号は予告通り、特集はすべて女性の方です。テーマ名が少し堅いのではないかと、特集としての内容がまちまちではないかとお叱りを受けそうですが、どうかご容赦下さい。とにかく女性の時代と騒がれている昨今、OR研究の第一線で活躍されている方々に登場していただくことを第一目的にしました。

▶新年号は「これからのOR」と題して会長はじめ、各界の方々からご意見を伺う予定です。年の初めとしてはうってつけのテーマです。読者の方々へは何かしらのインパクトを与えるものと確信いたします。(J)

## オペレーションズ・リサーチ

昭和58年12月号 第28巻 (新シリーズ第8巻) 12号 通巻276号

代表者 横山 勝義

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 牧野 都治

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (563-2241) へ